

○令和2年度 教育事業

「親子で冬を楽しもう」(R3.1.17(日))

◆目的

冬ならではの活動を通して自然に親しむとともに、親子の絆を深める機会とする。

◆参加実績(定員5家族20名)

参加5家族14名

年齢別内訳	
幼児	4名
小学生	3名
保護者	7名

地域別内訳	
旭川市	4家族
上川管内	1家族

◆日程

12:45 13:00		14:30 14:45		16:15 16:30	
1/17 (日)	受付	「カラダで冬を満喫! 大雪ウォークラリー」 ・ミッションをクリアしながら 自然と触れ合おう!	休憩	「手作りのバターと お絵描きホットケーキ」 ・親子で協力しながらお菓子を 作ろう!	閉会

◆プログラム

① カラダで冬を満喫!大雪ウォークラリー(90分)

交流の家のつどいの広場周辺を使用し、5つのミッションを家族で協力してクリアしてくウォークラリーを実施した。スノーソーで雪を切り出し、高く積み上げる雪積みゲームやチューブ滑りでゴールする障害物競走など、親も子供も声をあげて、楽しんでいた。



② 手作りバターとお絵描きホットケーキ(90分)

手作りのバターは、家族で協力して振らないと疲れてしまう大変な作業。ボランティアが作った手順シートをもとに、完成を目指した。お絵描きホットケーキづくりでは、ホットケーキの生地を使い、好きな絵を描いて、楽しみながら作り、食べることができた。



◆事業運営・企画のポイント

○本事業のプログラムはボランティアが企画立案し、雪遊びでは「遊んで身に付く36の基本的な動き」から様々な体の動きを取り入れ、ホットケーキ作りでは、幼児が活動しやすいよう会場設営やプログラムの進め方を工夫していた。

◆参加者の声

- 家族で遊ぶのはワンパターンになりがちなので、このようなイベントを企画、運営していただけて、たくさん楽しめて感謝です。
- 時間配分が気になりました。若干詰め込みすぎだったような気がします。ただ親も子供も充実した1日を過ごすことができました。また参加させていただきます。
- 細かな点でも子供のやっていることを褒めて頂き、子供の喜びとやる気が引き出されて良かったです。



□ソーシャルディスタンスをとりやすいエリア分けなど感染対策がしっかりとされていることを感じながら活動できました。

◆事業の成果と課題

- ①活動を通して、雪を積んだり滑ったりすることで自然に親しんでもらうことができた。
- ②2つの活動を午後に組み込んだことで、十分な休憩時間をとることができなかった。日帰りの場合は、午前と午後に1つずつ活動を入れるなど、親子が余裕をもって活動できるようにする必要がある。



◆事業運営費	合計	160,730 円
消耗品	・	93,673 円
旅費	・	66,790 円
燃料費	・	267 円